

FIRST STEP

～県内トップの実績を胸に、自分の勝ち筋をつかもう～

後期挑戦へのスタートライン！

—自分だけの勝ち筋で突破しよう—

後期受検の申し込み、お疲れ様でした。各自が明確な目標を定め、次なる挑戦へ足を踏み出しました。

前期の兵庫県比較データが示す通り、本校生の実技力と成果は県内トップレベルです。自信を持って今後の練習に臨みましょう。今号では、「自分が申し込んだ受検パターンに応じた戦い方

💡 今年度の戦略①」を解説します。自分のルートを再確認し、迷いなく突き進みましょう！

R8 検定結果(前期:兵庫県比較)

		3級	2級	準1級	1級
音楽	県合格者数	373	103	32	11
	県合格率	98	93	86	100
	合格者数	15	7	3	0
	合格率	100	100	100	0
造形	県合格者数	580	216	36	2
	県合格率	98	98	94	100
	合格者数	13	3	6	1
	合格率	93	100	100	100
言語	県合格者数	591	117	66	1
	県合格率	97	96	95	100
	合格者数	11	5	6	1
	合格率	100	100	100	100
看護	県合格者数	296	110	64	3
	県合格率	98	94	93	100
	合格者数	7	6	6	3
	合格率	100	100	100	75
合計	合格者数	46	21	21	5
	合格率	98	100	100	63
県級合格者数		233	56	28	0
級合格者数		8	3	3	0

※「合計」欄について：4種目の合格実績を合算した「延べ人数」です。

※「級合格」について：4種目すべてに合格し、その級を完全に取得した人数を指します。

令和8年度 前期検定結果：兵庫県比較からの総括

兵庫県全体のデータと比較することで、本校生徒の実力の高さがより明確になりました。

1級における県内トップクラスの成果

種目ごとに最高峰を目指す1級挑戦において、言語1級は県内唯一の合格者（1名）を輩出。看護1級は県内合格者3名全員が本校生、造形1級も県内合格者の半数（1/2名）を占めるなど、専門分野の質の高さが証明されました。

2級・準1級で全種目「合格率100%」

県全体の合格率が80～90%台にとどまる中、本校は両階級の全種目で全員合格。準1級の県内完全取得者（28名）のうち3名が本校生です。（県内シェア約11%）

3級の盤石な基礎力

音楽・言語・看護で100%合格を達成し、8名が「3級完全取得」を果たしました。

全体概況

延べ97名が受検し93名が合格（全体合格率96%）、14名が「級完全取得」を達成する大変素晴らしい結果となりました。特に3年生においては、2年生からの地道な積み重ねが、県平均を大きく上回る「確かな力」へとつながっています。

後期受検ロードマップ（今から本番までの流れ）

9月中旬～下旬【目標設定&計画策定】

申し込んだ受検種目・級の弱点を明確にし、具体的な「練習計画」を練る。

10月【質の追求・反復練習/3級本番】

動画・録音での客観的セルフチェック。友達同士での相互フィードバックを実施。

11月【上位級 本番想定・追い込み/準1級・1級筆記試験】

通し練習、制限時間・緊張感の中での最終調整。筆記試験対策の徹底。

12月【上位級 検定本番】

自分のベストパフォーマンスを発揮する！

💡 今年度の戦略①：受検パターン別の「勝ち筋」を徹底解剖！

- ・パターンA：級完全取得狙い（3級・2級・準1級・1級それぞれの4種目制覇）
- ・パターンB：上位級に挑戦！（強み種目に特化した専門攻略）

【パターンA】4種目完全取得ルート

意識ポイント：「苦手種目を作らない」バランス戦略

攻め方：得意種目で勢いをつけつつ、不安な1種目に練習時間を多めに配分する。4種目トータルで「安定したクオリティ」を出すことが合格への近道！

【パターンB】特定種目突破ルート

意識ポイント：「プロレベルの質の追求」特化戦略

攻め方：種目を絞っているからこそ、細部の表現（表情・間・手技の滑らかさ）に徹底的にこだわる。

前期の県内合格実績が示す通り、極めれば必ず結果が出ます！

あの合格者も
やっていた！

技術向上編！ 分野別ワンポイント

～合格への道～

【音楽】

☑正しい「譜読み」で全体の流れをつかむ

まずは正しく譜読みを行い、曲全体の構造や流れを把握してから「弾く・歌う」練習に入ろう。

☑正しい「音」と「一定のテンポ」を徹底キープ

本番の緊張感の中でも正確な音程と安定したリズムを保てるよう繰り返し練習しよう。

【造形】

☑最初に「構図」を確定させる

課題テーマに合わせた配置（レイアウト）をあらかじめ決めておこう。

☑貼り付け前の「全体バランス」チェック

パーツを貼り始める前に、画面全体の色のバランスや大きさの配置が偏っていないか必ず確認しよう。

【言語】

☑子どもに届く「語りかけ」を意識

ただ物語を暗誦して読みあげるのではなく、目の前の子どもたちの反応をイメージしながら声を出そう。

☑目線をしっかり上げる（大前提！）

文字を追うのではなく、子どもたち全員と目を合わせるつもりで顔をしっかり上げよう。

【看護】

☑動作の根拠を理解する

「なぜこの動作を先にするのか」など、意味や理由を理解して行うことで、手技に根拠と説得力が生まれる。

☑思考を挟まない「スムーズな一連の動き」

手順を思い出しながらではなく、無意識でも自然に体が覚えるまで練習しよう。

※上位級は筆記も難化します。早めの対策を！

☀ 1 級合格者に聞く！「合格を引き寄せた秘訣」

🗣 言語 1 級合格（県内唯一！）

「ただ物語を暗記するのではなく、『目の前の子どもたちがワクワクして聞いている顔』を想像して間を取るようにしました。自分の声を動画で録画して見返したのが一番効きました！」

🏥 看護 1 級合格

「手順通りやるのは当たり前。大切なのは『作業中も赤ちゃんに優しく声をかけ続けているか』。無意識でも手が動くよう、手順を体に染み込ませました！」

💡 後期で差がつく！「練習の質」を劇的に高める 3 つのテクニック

1. スマホ動画で「客観視」する

自分の演奏や実技を撮影してみよう。「思っている以上に視線が下がっている」「テンポが速い」など、客観的な課題が一目瞭然になります。

2. ルーブリックを使って「相互フィードバック」

友達とお互いの実技を見合い、前号（6号）裏面の評価ルーブリックで採点し合おう。「人に伝わっているか」を確認する最高の実践練習になります。

3. 「本番の 1 回」を意識した一発勝負練習

何度でもやり直す練習ではなく、「今から本番！」と決めて緊張感の中で 1 回通す練習を日々に取り入れましょう。

🔴 今すぐやること（スタート・チェック）

- ☐ 今年度の課題内容を確認した
- ☐ まずは 1 回、通してやってみた（声かけ・動き）
- ☐ 自分の苦手なポイントをメモした
- ☐ 明日練習するポイントを 1 つ決めた

☒ 担当教諭より ～自分だけの「勝ち筋」で、限界を超えていこう～

目標が定まり、いよいよ後期のカウントダウンが始まりました。バランス重視でいか、一極集中でいか、自分の「勝ち筋」は見えたはずです。

上位級の壁は高く見えますが、前期の成果が証明している通り、正しい戦略で努力を重ねれば必ず乗り越えられます。自分の選んだルートに誇りを持ち、自分史上最高のパフォーマンスを目指して一歩を踏み出しましょう！

📅 編集後記

- ☐ 県内トップの実績は、日頃の努力の賜物！
- ☐ 自信を持って、自分の選んだ戦略を最後までやり切ろう！

お知らせと注釈

- 本文の保育検定各種目は「音楽」「造形」「言語」「看護」と略記しています。
- 一部画像（「一歩」を象徴するシルエット等）は Google AI により生成したものを加工して使用しています。